

# 12日 杉コレ2011 in 日向最終選考会

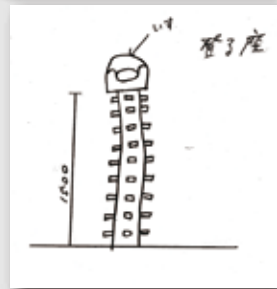
(土)  
12時30分~

今年も多数の応募作品の中から、1次審査を勝ち進んだ10作品を実物大で制作。最終プレゼンを経てどの作品がグランプリに輝くのか!

■審査委員長 内藤 廣氏(建築家・内藤廣建築設計事務所代表)  
■審査員 南雲勝志氏/岩田正晴氏/加藤裕彦氏  
(順不同) 飯村 豊氏/黒木健二氏/津高 守氏  
丸山康幸氏/内田みえ氏/中川和也氏

12:30 オープニング  
12:40 最終プレゼン  
15:00 審査結果発表・表彰式

## 007 登る座



作者 **甲斐直樹** / 宮崎県立日向工業高等学校 建築科

**作品コンセプト**  
ただ座るだけの目的の椅子ではなく、座ることが楽しくなる椅子。風や人の賑わいを感じれるシンボリックな椅子の提案です。幼少時代TVで観たラスカルの家。将来こんな家に住みたいと想い続けてきました。夢をカタチに・・・想いよ届け!

**作者コメント**  
生まれて初めての作品応募。生まれて初めての人前のプレゼン。どうなっているのかわからない。こういった機会を与えてもらったことに感謝です。

## 033 お尻合いイス



作者 **山内成津子** / 宮崎市臨時職員

**作品コンセプト**  
隣に座った見ず知らずの人と、自然と会話が弾む。何度か顔を合わせるうちに知り合いになる。そんな人の温かさを感じるようなイスがお尻の形をしていたら、何だかふふっと笑ってしまいませんか? イスに腰掛けて話をする事で、人と人との繋がりを感じて欲しいと思います。

**作者コメント**  
1歳になる娘のお尻を見て考えました。私の落書き程度の絵が形になりとても嬉しです。今の時代、なかなか木に触れる事が無いと思うので手触りを楽しんでもらいたいです。

## 036 ひ座すぎ(hiza-sugi)



作者 **若松茂樹** / 公務員

**作品コンセプト**  
昨年西都でのデビュー作「セクスーステップ」でなし得なかった「ひざ枕」を、お茶の間サイズで実現。小さな作品ですが、西都木青会の企画と染川木工所さんの腕前、集成材の織りすぎ木肌と木目などなど、見どころ満載です!

**作者コメント**  
スギ生産量日本一!みやざきスギ活用推進室の若松です。西都原で昨年「次回は裏方に徹します」と誓ったにもかかわらず、また応募してしまいました。皆さん「杉コレ」を楽しんでください!

## 057 遠藤さん家のイス



作者 宮崎県立日向工業高等学校建築科1年 3人娘!  
**黒木菜 小川紀子 小田まりあ**

**作品コンセプト**  
日向市駅横の広場には、長くて大きなベンチはあるけど、ちっちゃなイスがない。だから豆の形をした腰に優しく、疲れた人がちょっと一息つけるようなイスがあったらいいなと思い、提案しました。「えっ、これなに豆?? てか、えんどう豆!!? これは、そら豆やかい!!」

**作者コメント**  
建築科3人娘です。日向市駅には学校帰りによく行きます。特にお気に入りのは障害者センターあいとびお内にある先輩達のデザインしたベンチです。自分達の「遠藤さん家のイス」もできたらいいな!

## 074 杉のパレット



作者 **杉浦哲馬** / プロダクトデザイナー

**作品コンセプト**  
工業製品やマスのプロダクトの素材といえば、主に樹脂や金属を使っている。木材を使用した工業製品もあるが、そのボリュームや使用できる用途は限られている。そんななかで、運搬・保管用に使われるパレットは数少ない大量生産・大量消費される木材工業製品の一つだ。実用に即した機能的な形とシンプルな美しさは使う場所や用途が変わっても本質的な魅力は変わらない。

**作者コメント**  
学校を卒業してから初めてチャレンジしたコンペが記念すべき第一回杉コレでした。何とかデザインを職業として生きていけるかもしれないと思ったのもこのコンペでした。またその舞台に帰ってくるのができて、わくわくしています。今回は製品化も考慮にいれながら、「つくりやすく、つかいやすい」をコンセプトに杉の家具を提案しています。

## 093 肩車



作者 **馬詰和明** / 馬詰設計工房 主宰

プレゼンター **馬詰菜央** / 建築設計事務所勤務

**作品コンセプト**  
私たちが日常生活に求めるイスは、なんですか?仕事・食事・観覧、何かの目的に必要なイスです。肩車のイスは、座った時に感じる木のぬくもりはもちろんの事、心のぬくもり、誰しも思い出のある肩車、座ったと同時にタイムスリップ!座る人々の記憶のイス、心も休まるイスが、肩車です。さあ座ってみましょうか!!

## 099 AO HOCKER



作者 **平瀬有人** / 佐賀大学准教授・yHa architects

**作品コンセプト**  
鉄肥杉の軽さを活かした、見た目にも軽やかな「座」を提案します。コンパクトで持ち運びの容易な形態のため、複数個つなげて円形の「座」のような利用や、リニアな長いベンチのようにと様々なシチュエーションに対応した「場」をつくることができます。また、座面が台形なためスタッキングも可能です。

**作者コメント**  
昨年に引き続き今年も杉コレクションに参加でき、鉄肥杉で作品を製作することができ嬉しく思っています。緊張しすぎ(杉)ないよう、本番プレゼン頑張ります。ひよつと(こ)したら今年是最優秀賞?!

## 105 低スギあぐら椅子



作者 **高見沢仁志** / 学生 **原 章** / 学生

**作品コンセプト**  
いつも高い椅子に座って過ごすオフィスのような場所に、床座の要素を取り入れたらきつと面白い。座面が広いこの低スギの椅子にあぐらをかいて座ると、目の高さはしゃがんだ時と同じになる。あぐらで会議、あぐらで休憩、あぐらで打ち合わせ...

**作者コメント**  
杉の感触や温かさをみなさんに伝えられるような作品を目指しました。昨年に続き2度目の最終選考会、今度こそ杉トロフィーを持って帰りたいです。

## 001 ゆっくりすわる杉のまるいイス



作者 **日高裕葵** / 宮崎大学教育文化学部附属小学校6年生

**作品コンセプト**  
今回はテーマが「座」なので「座」の形をイメージして作品を書いてみました。図1の場合人は人が2つありませんが、図2のように「人」が2人座ればやっと「座」の完成です!! 又、日除けのすだれもついているので、夏には日光が当たらないです。冬には冷たい風をよけるのであたたかいです。こういう便利なものがあったらいいですね。

## 004 だっこのイス



作者 **安田圭沙** / 日知屋東小学校3年生

**作品コンセプト**  
お父さんやお母さんのだっこのようにあたたかい気分になれるように考えました。両手でぎゅっとだきしめられるところがポイントです。